# Ⅱ 産 業 別 概 況

## 1 第１次産業

(1)概況

沖縄の農林水産業は、台風の常襲等の過酷な自然環境下にあるものの、亜熱帯地域の温暖な気候の下、県内各地の豊富な地域資源を活かして、基幹作物であるさとうきびをはじめ、花き（きく等)、熱帯果樹（マンゴー、パインアップル等)、野菜（ゴーヤー、さやいんげん等）などの農産物が生産されている。また、肉用牛の子牛生産（県外の肥育農家に販売するもの）や養豚が盛んであることもあり、畜産が農業産出額の約 4 割を占める重要な産業となっている。このほかまぐろ類やもずく類等の水産物など、多様な農林水産物を供給するとともに、離島地域等の地域社会の維持・発展を担う重要な産業である。

(2)食料自給率

沖縄県の食料自給率は、カロリーベースが 20%台後半から 40%の間、生産額ベースが 30%台後半から 60%台前半の間で推移している。令和 6 年度の概算値はそれぞれ 32%、38%であった（表－14 参照）。

### 表－14 沖縄県の食料自給率の推移

（単位：%）

| | 平成10年度 | 15 | 20 | 25 | 30 | 令和元年度 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6（概算値） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| カロリーベース | 37 | 33 | 40 | 27 | 27 | 34 | 32 | 32 | 34 | 30 | 32 |
| （参考）カロリーベース（全国） | 40 | 40 | 41 | 39 | 37 | 38 | 37 | 38 | 38 | 38 | 38 |
| 生産額ベース | 54 | 57 | 55 | 52 | 63 | 63 | 64 | 52 | 44 | 41 | 38 |
| （参考）生産額ベース（全国） | 71 | 71 | 66 | 66 | 66 | 63 | 67 | 63 | 58 | 61 | 64 |

（注）：「食料需給表」、「作物統計」、「生産農業所得統計」等を基に試算。
資料：農林水産省「都道府県別食料自給率」、「食料自給率の推移」

(3)農業

① 農家数等

（総農家数）

総農家数は減少傾向で推移しており、令和 7 年には 13,270 戸で、復帰後最初の調査値である昭和 50 年（48,018 戸）の 28%となっている。なお、令和 7 年の販売農家数は 8,906 戸となっており、総農家数の 67%を占めている（表－15 参照)。

（基幹的農業従事者数）

令和 7 年の基幹的農業従事者数は、9,873 人で、昭和 60 年（40,461 人）の 24%となっている。なお、令和 7 年の基幹的農業従事者数に占める 65 歳以上の割合は、65%となっており、基幹的農業従事者の減少と高齢化が進んでいる（表－16 参照)。

（認定農業者数）

沖縄県における令和 6 年度末の認定農業者（農業経営基盤強化促進法に基づき、沖縄県及び市町村が認定した、自らの創意工夫により経営の改善を進めようとする農業者）数は 1,009 経営体（うち法人 209）で、令和 5 年度末の、1,086 経営体（うち法人 230）に比べて、77 経営体減少している（表－17 参照)。

## 表－15 農家数の推移

（単位：戸、人）

| 区　分 | 昭和50年 | 55 | 60 | 平成２年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 令和２年 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総農家数 | 48,018 | 44,823 | 42,820 | 38,512 | 31,558 | 27,088 | 24,014 | 21,547 | 20,056 | 14,747 | 13,270 |
| 販売農家数 | … | … | 33,328 | 29,351 | 23,996 | 20,088 | 17,153 | 15,123 | 14,241 | 10,674 | 8,906 |
| 自給的農家数 | … | … | 9,492 | 9,161 | 7,592 | 7,000 | 6,861 | 6,424 | 5,815 | 4,073 | 4,364 |
| （参考）新規就農者のうち青年(45歳未満) | … | 233 | 130 | 58 | 55 | 70 | 50 | 114 | 237 | 186 | 161 |

（注）：１.農家とは、昭和55年までは経営耕地面積が５ａ以上又は農産物販売金額が１年間で昭和50年は７万円以上、昭和55年は10万円以上あった世帯をいい、昭和60年以降は経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。
２.販売農家とは、経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。
３.自給的農家とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。
４.「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。
５.「（参考）新規就農者のうち青年」の該当する年齢については、平成25年調査までは15歳以上40歳未満であり、平成26年調査からは18歳以上45歳未満に変更となった。
資料：農林水産省「農林業センサス」、新規就農者数については沖縄県調べ

## 表－16　基幹的農業従事者数の推移

（単位：人、％）

| 区　分 | 昭和60年 | 平成２年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 令和２年 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基幹的農業従事者 | 40,461 | 36,347 | 30,404 | 27,532 | 23,092 | 20,318 | 17,747 | 13,288 | 9,873 |
| うち65歳以上 | 10,025 | 11,446 | 12,180 | 13,894 | 12,611 | 10,963 | 9,715 | 8,035 | 6,424 |
| 基幹的農業従事者数に占める65歳以上の割合 | 24.8 | 31.5 | 40.1 | 50.5 | 54.6 | 54.0 | 54.7 | 60.5 | 65.1 |

（注）：基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。
資　料：農林水産省「農林業センサス」

## 表－17　認定農業者の動向

（単位：経営体）

| 区　分 | 23年度末 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 令和元年度末 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 認定農業者数 | 1,699 | 1,491 | 1,472 | 1,549 | 1,548 | 1,465 | 1,431 | 1,319 | 1,268 | 1,278 | 1,236 | 1,178 | 1,086 | 1,009 |
| うち法人 | 198 | 177 | 205 | 218 | 224 | 226 | 244 | 252 | 259 | 263 | 251 | 244 | 230 | 209 |

資　料：農林水産省経営局経営政策課調べ

② 耕地面積

耕地面積は、農家の減少及び高齢化等により減少傾向にあり、令和 7 年は 35,800ha で前年に比べ 100ha 減少した（表－18 参照）。荒廃農地面積については、令和 6 年の調査において 3,579ha で、再生利用された農地は 438ha となっている（表－19 参照）。

このように、荒廃農地は、解消の取組により再生利用されている一方で、農家の高齢化の進行等により発生が続いている状況にある。

## 表－18　耕地面積の推移

（単位：ha）

| 区分 | 昭和47年 | 55 | 60 | 平成2年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 令和2年 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 耕地面積 | 45,900 | 43,800 | 46,200 | 47,000 | 44,800 | 41,400 | 39,300 | 39,200 | 38,600 | 37,000 | 36,100 | 35,900 | 35,800 |

資　料：昭和47年は沖縄総合事務局「沖縄農林水産統計年報」、昭和55年以降は農林水産省「耕地及び作付面積統計」

## 表－19　荒廃農地面積の推移

（単位　：　ha）

| 区　　分 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|
| 荒　廃　農　地　面　積 | 3,592 | 3,617 | 3,588 | 3,578 | 3,579 |
| 再生利用された面積 | 462 | 201 | 352 | 425 | 438 |

（注１）調査期日及び調査期間について、令和２年度荒廃農地面積は調査年度の11月30日現在、再生利用された面積は調査年度の前年度12月１日～調査年度の11月30日に調査したもの。令和３年度は、荒廃農地面積は調査年度の３月30日現在、再生利用された面積は調査年度の前年度12月１日～調査年度の３月30日に調査したもの。令和４年度～６年度は、荒廃農地面積は調査年度の３月31日現在、再生利用された面積は調査年度の４月１日～３月31日に調査したもの。

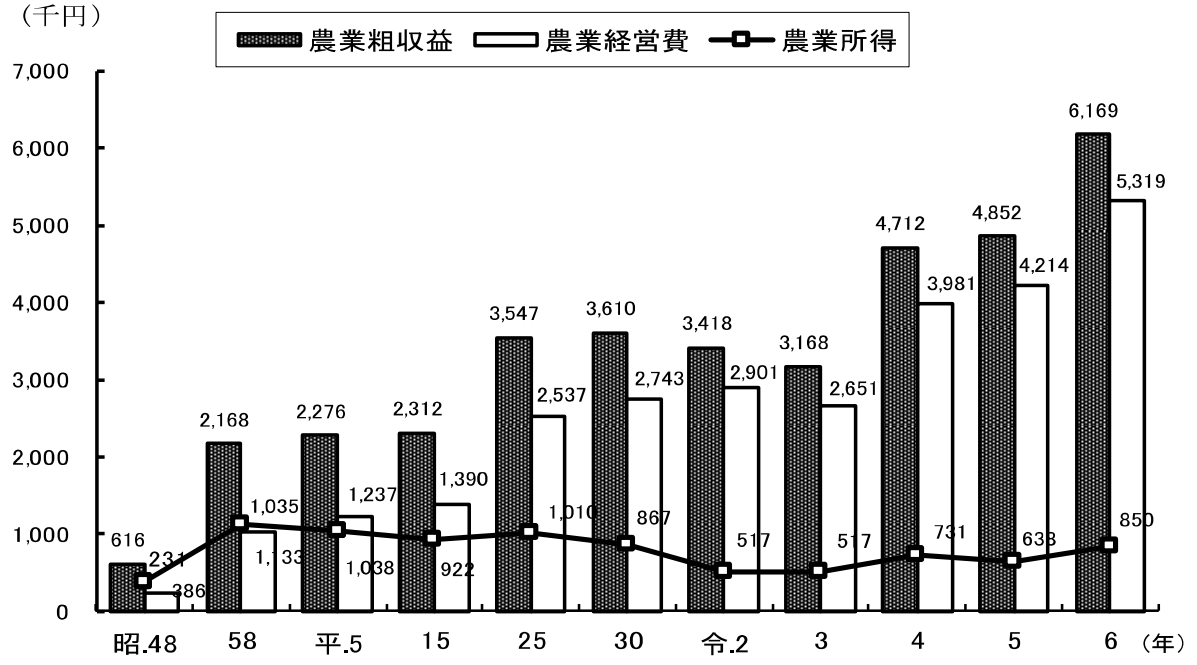
（注２）荒廃農地とは、現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地をいう。

資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

③　農業経営収支（個人経営体）

令和6年の農業粗収益は6,169千円で前年に比べて27.1%増加し、農業経営費は5,319千円で前年に比べ26.2%増加した。この結果、農業所得は850千円となり、前年から33.2%増加した(図－7、表－20参照)。

## 図－7　農業経営体(個人経営体)の動向（沖縄・１経営体当たり）




（注）：本調査は標本調査であり、５年ごとに標本設計が見直され、令和4年以降は2020年農林業センサスを基準としている。（前回：平成29年～令和3年は2015年農林業センサス）

資料：農林水産省「農家経済調査」、平成15年以降は「農業経営統計調査」

## 表－20　農業経営体(個人経営体)の農業経営収支の推移（沖縄・１経営体当たり）

（単位:千円）

| 区　分 | 昭和48年 | 58 | 平成5年 | 15 | 25 | 30 | 令和2年 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業粗収益 | 616 | 2,168 | 2,276 | 2,312 | 3,547 | 3,610 | 3,418 | 3,168 | 4,712 | 4,852 | 6,169 |
| 農業経営費 | 231 | 1,035 | 1,237 | 1,390 | 2,537 | 2,743 | 2,901 | 2,651 | 3,981 | 4,214 | 5,319 |
| 農業所得 | 386 | 1,133 | 1,038 | 922 | 1,010 | 867 | 517 | 517 | 731 | 638 | 850 |
| 農業所得（全国） | 742 | 990 | 1,291 | 1,106 | 1,321 | 1,741 | 1,175 | 1,152 | 1,031 | 1,147 | 1,694 |

資料:農林水産省「農家経済調査」、平成15年以降は「農業経営統計調査」

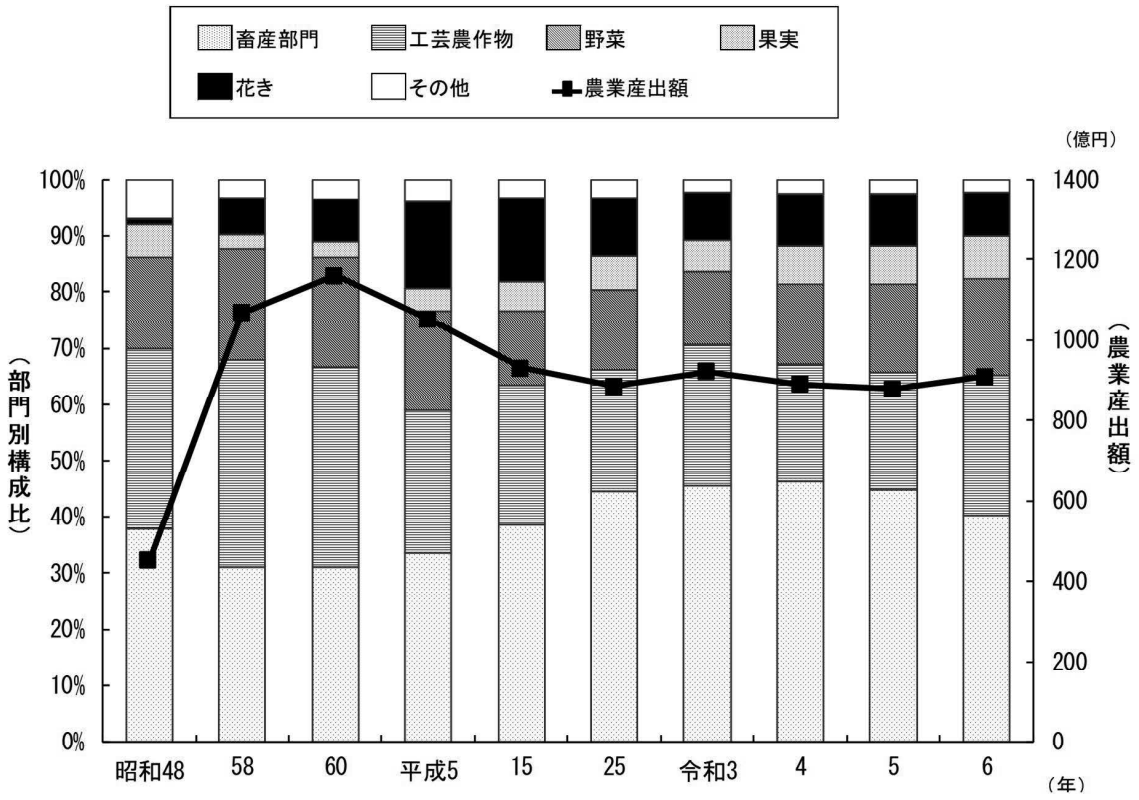
④　農業産出額

農業産出額の推移をみると、昭和60年の1,160億円をピークに減少傾向が続いていたが、ここ数年は900億円前後で推移しており、ほぼ横ばいとなっている。

令和6年は主にさとうきびの生産量が増加したこと等から、対前年比3.4%増の909億円となった（図－8、表－21参照）。

令和6年の農業産出額をみると、畜産部門が367億円（うち、肉用牛が147億円、豚が126億円）、工芸農作物226億円（うち、さとうきび203億円）、野菜155億円、花き71億円、果実70億円となっている(表－21参照）。

## 図－8　農業産出額及び部門別構成比の動向



## 表－21　農業産出額及び部門別構成比の推移

（単位：億円、（ ）は%）

| 区　分 | 昭和48年 | | 58 | | 60 | | 平成5年 | | 15 | | 25 | | 令和3年 | | 4 | | 5 | | 6 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業産出額 | 451 | (100) | 1,068 | (100) | 1,160 | (100) | 1,052 | (100) | 931 | (100) | 885 | (100) | 922 | (100) | 890 | (100) | 879 | (100) | 909 | (100) |
| 耕種部門 | 280 | (62) | 733 | (69) | 795 | (69) | 699 | (66) | 571 | (61) | 492 | (56) | 501 | (54) | 477 | (54) | 486 | (55) | 542 | (60) |
| 野菜 | 73 | (16) | 210 | (20) | 225 | (19) | 185 | (18) | 124 | (13) | 126 | (14) | 119 | (13) | 127 | (14) | 136 | (15) | 155 | (17) |
| 果実 | 27 | (6) | 31 | (3) | 33 | (3) | 42 | (4) | 47 | (5) | 53 | (6) | 53 | (6) | 61 | (7) | 62 | (7) | 70 | (8) |
| 花き | 5 | (1) | 68 | (6) | 89 | (8) | 163 | (15) | 140 | (15) | 93 | (11) | 78 | (8) | 82 | (9) | 82 | (9) | 71 | (8) |
| 工芸農作物 | 144 | (32) | 392 | (37) | 412 | (36) | 268 | (25) | 231 | (25) | 192 | (22) | 232 | (25) | 185 | (21) | 185 | (21) | 226 | (25) |
| うち、さとうきび | 138 | (31) | 368 | (34) | 374 | (32) | 221 | (21) | 173 | (19) | 151 | (17) | 196 | (21) | 166 | (19) | 166 | (19) | 203 | (22) |
| 畜産部門 | 171 | (38) | 332 | (31) | 362 | (31) | 352 | (33) | 359 | (39) | 393 | (44) | 420 | (46) | 412 | (46) | 393 | (45) | 367 | (40) |
| 肉用牛 | 26 | (6) | 44 | (4) | 50 | (4) | 78 | (7) | 145 | (16) | 158 | (18) | 209 | (23) | 192 | (22) | 160 | (18) | 147 | (16) |
| 豚 | 81 | (18) | 182 | (17) | 195 | (17) | 168 | (16) | 116 | (12) | 123 | (14) | 114 | (12) | 120 | (13) | 120 | (14) | 126 | (14) |

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

⑤　農作物作付（栽培）延べ面積

農作物作付（栽培）延べ面積の推移をみると、昭和 49 年は 38,800ha で、その後、増加傾向で推移していたが、昭和 61 年の 49,100ha をピークに減少に転じ、令和 7 年は 29,600ha となっている。また、令和 7 年の耕地面積は 35,800ha であるため、耕地利用率は 82.7%となっている（表－22 参照）。

## 表ー22　農作物作付(栽培) 延べ面積及び耕地利用率の推移

単位 面　積:ha / 利用率:%

| 区　　分 | 昭. 49 | 61 | 平. 2 | 12 | 22 | 令. 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 作付(栽培)延べ面積① | 38,800 | 49,100 | 45,700 | 37,400 | 35,100 | 31,300 | 32,000 | 31,100 | 30,500 | 30,200 | 29,600 |
| 稲 | 2,070 | 749 | 881 | 1,150 | 914 | 650 | 666 | 639 | 576 | 599 | 632 |
| 麦　類 | 22 | 3 | 2 | 9 | 8 | X | 14 | 12 | 14 | 13 | 14 |
| かんしょ | 2,160 | 467 | 453 | 293 | 254 | | | | | | |
| 雑　穀 | 3 | 28 | 27 | 89 | 112 | | | | | | |
| 豆　類 | 185 | 73 | 97 | 89 | 103 | | | | | | |
| 果　樹 | 5,320 | 3,090 | 2,760 | 1,760 | 1,780 | | | | | | |
| パインアップル | 4,530 | 2,160 | 1,730 | 655 | 533 | | | | | | |
| 野　菜 | 3,560 | 4,310 | 3,470 | 3,060 | 2,780 | 30,569 | 31,346 | 30,439 | 29,921 | 29,628 | 28,900 |
| 工芸農作物 | 24,400 | 33,000 | 30,800 | 22,500 | 20,200 | | | | | | |
| さとうきび | 23,700 | 31,900 | 29,900 | 21,000 | 18,900 | | | | | | |
| 飼肥料作物 | 1,050 | 6,510 | 6,290 | 7,170 | 7,730 | | | | | | |
| その他作物 | 77 | 852 | 937 | 1,244 | 1,250 | | | | | | |
| 耕地面積　② | 43,400 | 46,600 | 47,000 | 41,400 | 39,200 | 37,000 | 36,500 | 36,300 | 36,100 | 35,900 | 35,800 |
| 耕地利用率　①／② | 89.4 | 105.4 | 97.2 | 90.3 | 89.5 | 84.6 | 87.7 | 85.7 | 84.5 | 84.1 | 82.7 |

(注):平成29年から、水稲、麦類以外は、「その他作物」とした。
「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。
資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「作物統計」、沖縄総合事務局「沖縄農林水産統計年報」

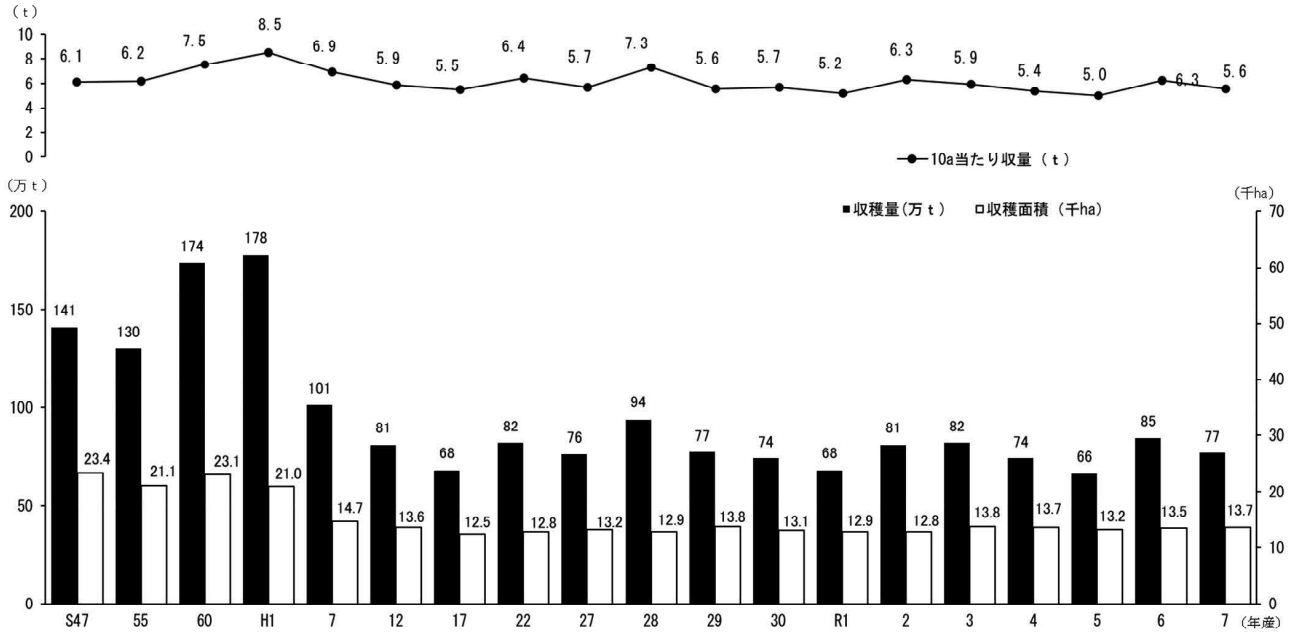
⑥　部門別の概要

(さとうきび)

さとうきびは、沖縄県における基幹作物であり、製糖業とともに地域経済の振興を図る上で重要な役割を担っている。生産の動向をみると、平成元年産が178万tと復帰後最高の収穫量になって以降、担い手の減少、高齢化等から、収穫面積及び収穫量ともに減少傾向で推移していたが、平成17年度に県及び島ごとに「さとうきび増産プロジェクト会議」が設置され、その中で策定されたさとうきび増産計画の目標達成に向け関係機関が一体となって取り組んだこと、また、比較的大きな災害がなかったことから、その後、増加に転じたものの、近年は再び減少傾向がみられる。(図ー9参照)。

さとうきびの増産については、令和17年産の生産目標を82.3万tに設定した新たな「さとうきび増産計画」が令和7年度に策定され、目標達成のため、国、県及び関係団体が一体となって総合的に推進している。令和7年産は、生育期の小雨の影響により、天候に恵まれ作柄の良かった前年産を下回る77万tとなっている。

図－9　さとうきび生産の推移

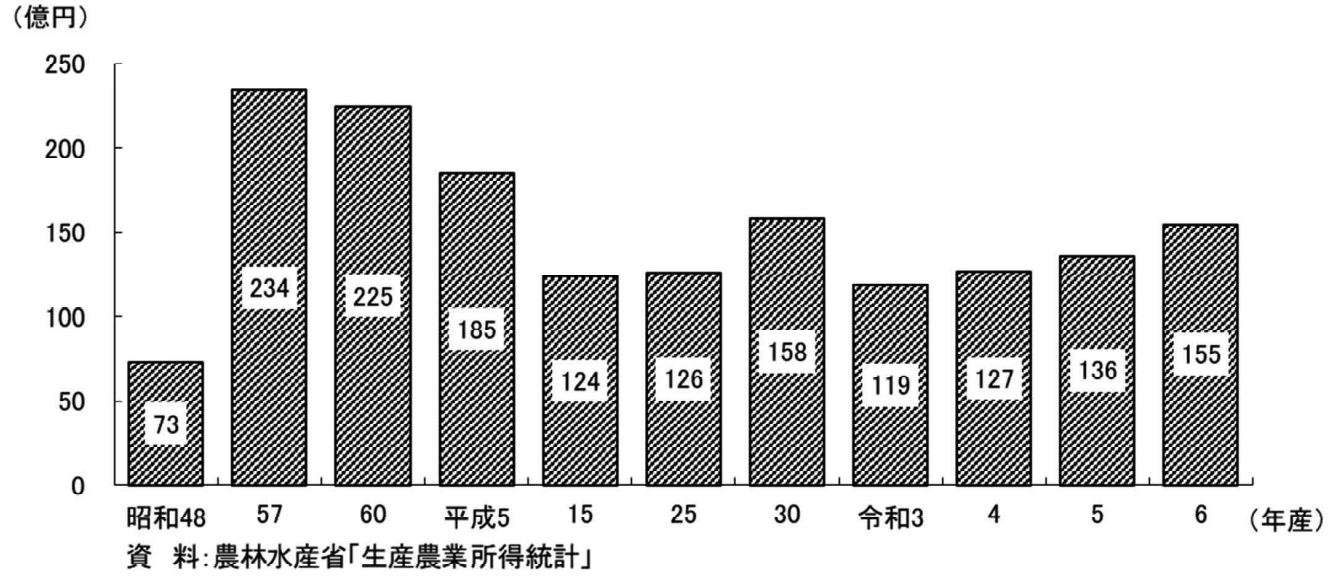



資　料：農林水産省「作物統計」

（野菜）

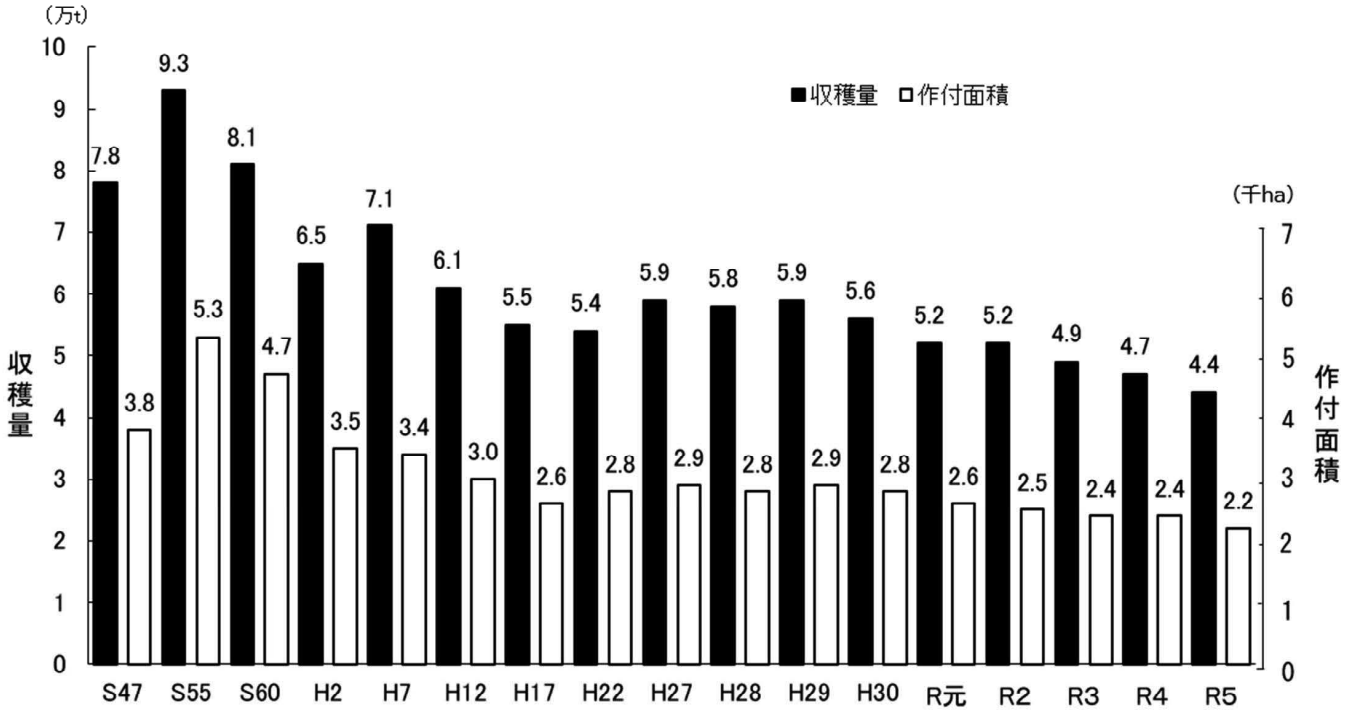
野菜は、冬春期を中心にゴーヤー、さやいんげん等が生産・出荷されており、令和6年の産出額は155億円、令和5年産の作付面積は2,207ha、収穫量は43,987ｔとなっている（図－10、図－11参照）。

図－10　野菜の農業産出額




資　料:農林水産省「生産農業所得統計」

## 図－11　野菜生産の推移

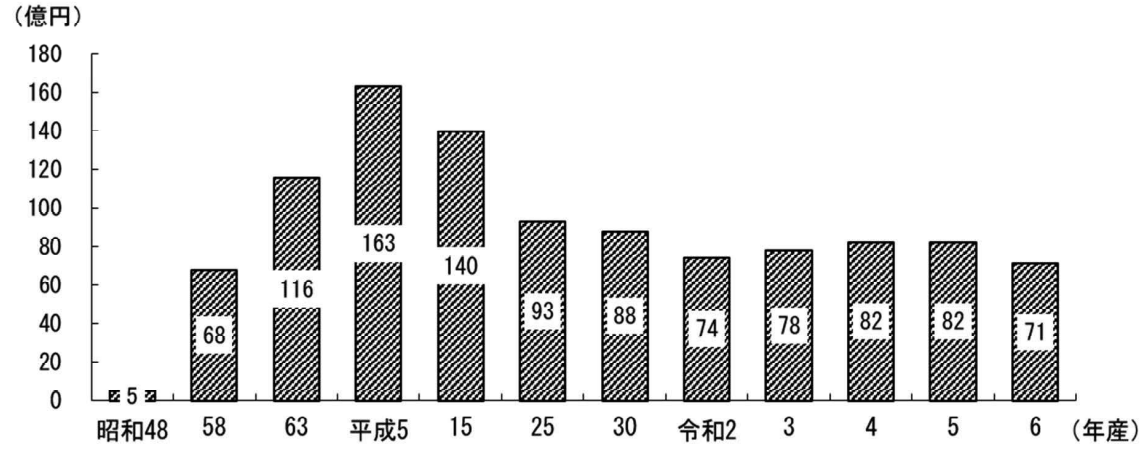



資　料：沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」（平成18年以前）
沖縄県農林水産部「沖縄県の園芸・流通」

（花き）

花きは、本土出荷用のきくを中心に県外出荷額を伸ばしてきたが、需要の減少及び安価な輸入物の増加により、花き全体の産出額はピーク時よりも減少し、近年は年による増減が大きいものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響を受けるまでは概ね横ばい傾向であった。令和５年産については、引き続きコロナ禍の影響を受けたものの需要が一部回復したことにより 82 億円となったが、令和６年産は 71 億円と減少に転じた（図－12 参照）。また、令和７年産の切り花類の出荷量は１億 7,630 万本で、そのうち、きくの出荷量が１億 5,630 万本と 89％を占めている（表－23 参照）。

## 図－12　花きの農業産出額




資　料：農林水産省「生産農業所得統計」

表－23　花きの作付面積及び出荷量の推移

単位：ha、万本（鉢）

| 区分・品目 | 昭和63年 | 平成５年 | 15 | 25 | 令和３年 | ４ | ５ | ６ | ７（概数） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積 | | | | | | | | | |
| 切り花類 | 648 | 978 | 1,170 | 1,043 | 924 | 875 | 820 | 760 | 565 |
| き　く | 476 | 668 | 846 | 850 | 712 | 664 | 618 | 561 | 419 |
| 洋ラン類 | 28 | 55 | 37 | 17 | … | … | … | … | … |
| 切り葉 | 31 | 98 | 136 | 150 | 102 | 97 | 89 | 88 | 70 |
| 出荷量 | | | | | | | | | |
| 切り花類 | 21,100 | 33,150 | 37,680 | 34,130 | 26,150 | 24,370 | 22,900 | 20,140 | 17,630 |
| き　く | 16,930 | 25,050 | 29,960 | 30,100 | 23,420 | 21,650 | 20,270 | 17,730 | 15,630 |
| 洋ラン類 | 423 | 891 | 415 | 159 | … | … | … | … | … |
| 切り葉 | 1,430 | 4,360 | 4,980 | 3,130 | 1,860 | 1,820 | 1,690 | 1,570 | 1,410 |

資料：農林水産省「花きの作付（収穫）面積及び出荷量」、沖縄総合事務局「沖縄農林水産統計年報」

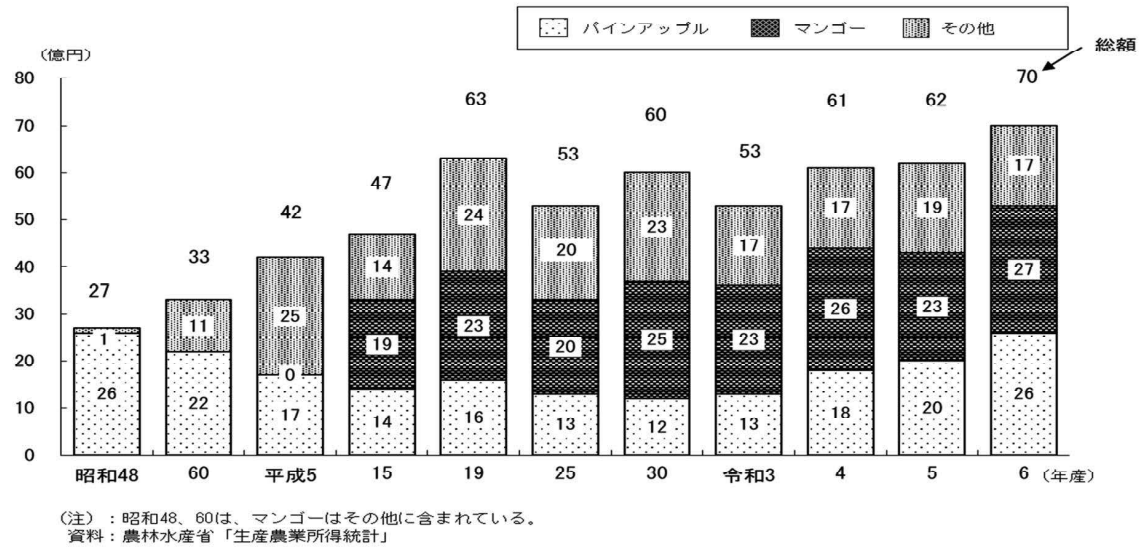
（果樹）

果樹は、マンゴー、パインアップル、パッションフルーツ等の熱帯果樹、タンカン、シークヮーサー等の柑橘類が生産されており、果樹全体の令和６年の農業産出額は70億円（対前年比113%）、そのうちマンゴーが27億円、パインアップルが26億円となっている（図－13参照）。

マンゴーについては、施設の導入、着果促進技術の確立、ミバエ類の根絶による生産意欲の増大等により、昭和60年以降、結果樹面積・収穫量ともに増加傾向で推移しており、令和5年産は2,041ｔ（対前年比114%）となった（図－14参照）。

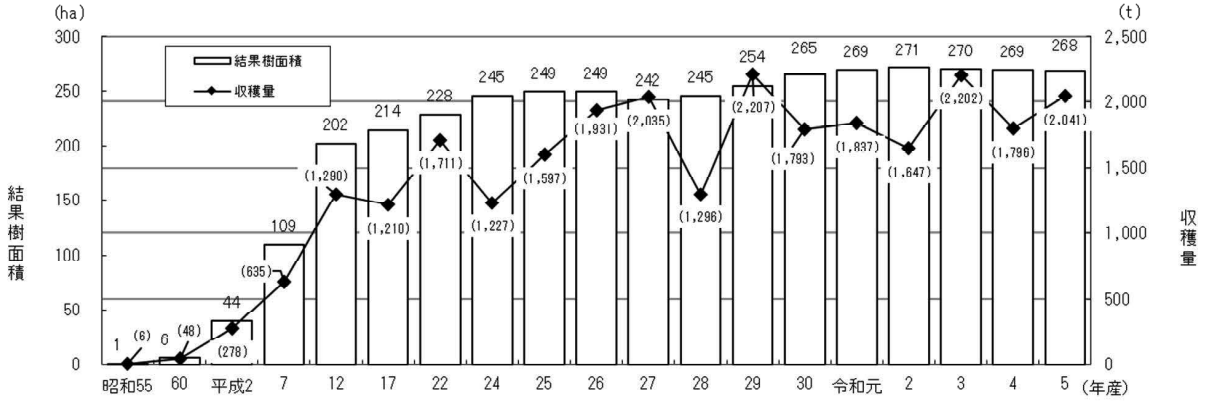
また、パインアップルについては、農業従事者の高齢化や農作業の機械化の遅れ等により、収穫面積・収穫量ともに減少してきたものの、近年は横ばいで推移している。令和７年産の収穫面積は339ha（対前年比104%）、収穫量は6,030t（対前年比85%）となった（図－15参照）。近年はボゴールやゴールドバレル等生食向け品種の普及や施設の導入等により、品質の向上及び生食用の生産拡大が推進されている。

図－13　果樹の農業産出額



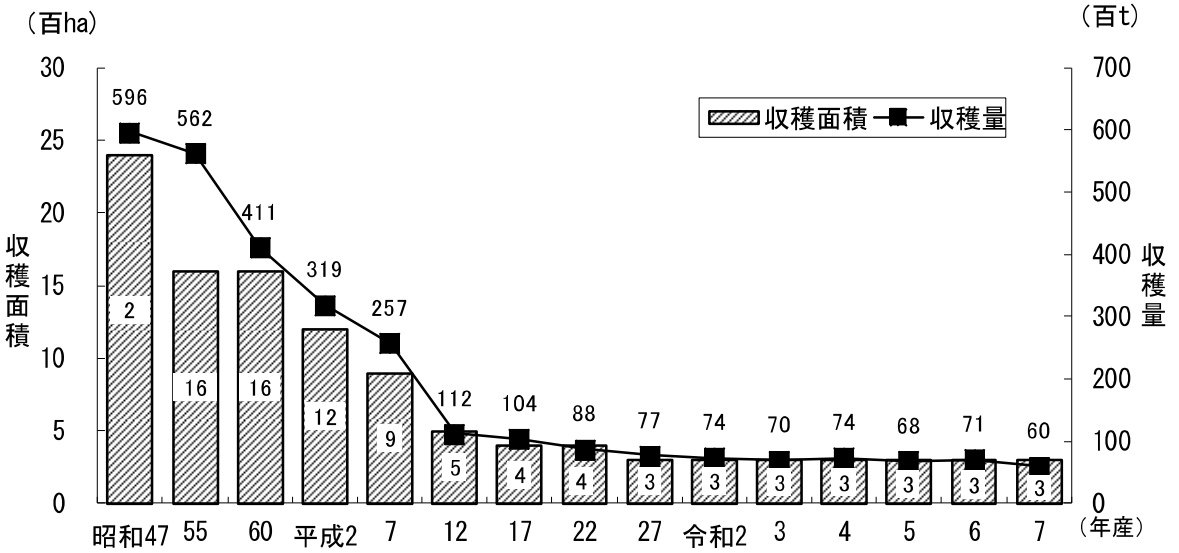

（注）：昭和48、60は、マンゴーはその他に含まれている。
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

図－14　マンゴー生産の推移




資　料：沖縄県農林水産部「沖縄県の園芸・流通」
（平成18年以前）沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」

図－15　パインアップル生産の推移



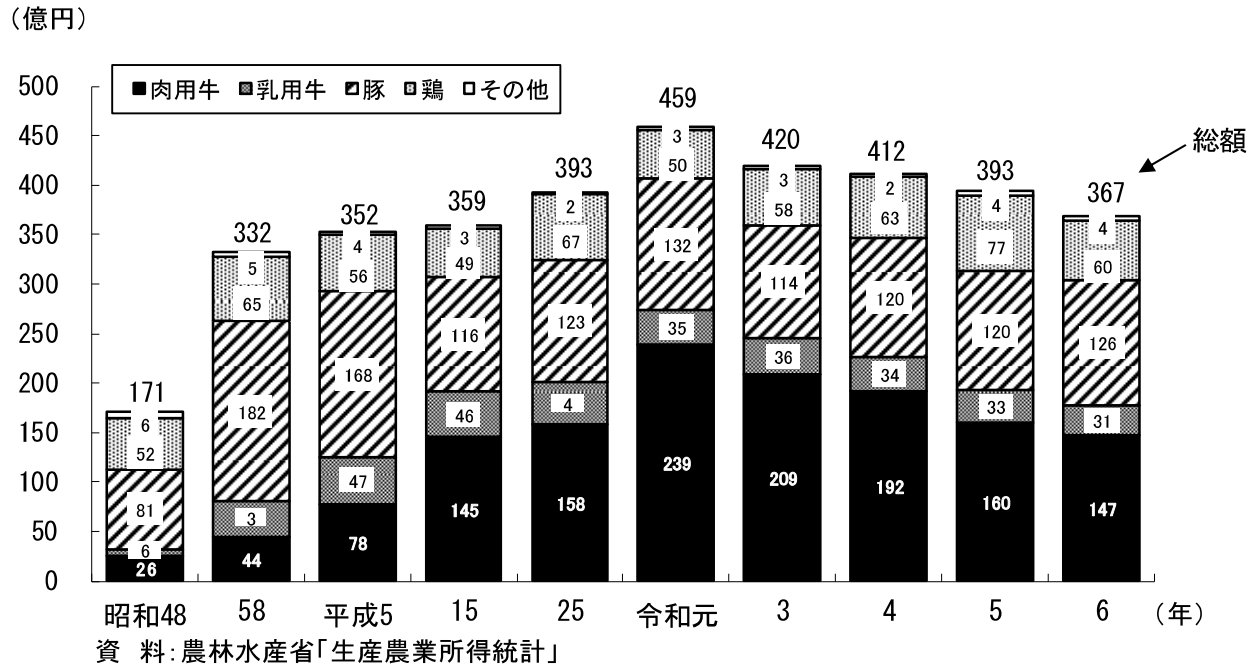

資　料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

（畜産－肉用牛）

令和6年の畜産部門産出額は367億円で、農業産出額全体（909億円）の40％となっており、沖縄県の農業部門の中で重要な地位を占めている。畜種別産出額は、特に肉用牛が147億円（畜産部門産出額の40％）と最も多い（図－16参照）。肉用牛の飼養頭数は、令和8年には6万9,400頭（対前年比92.2%）と前年から減少した。飼養戸数についても減少傾向で推移している（図－17参照）。

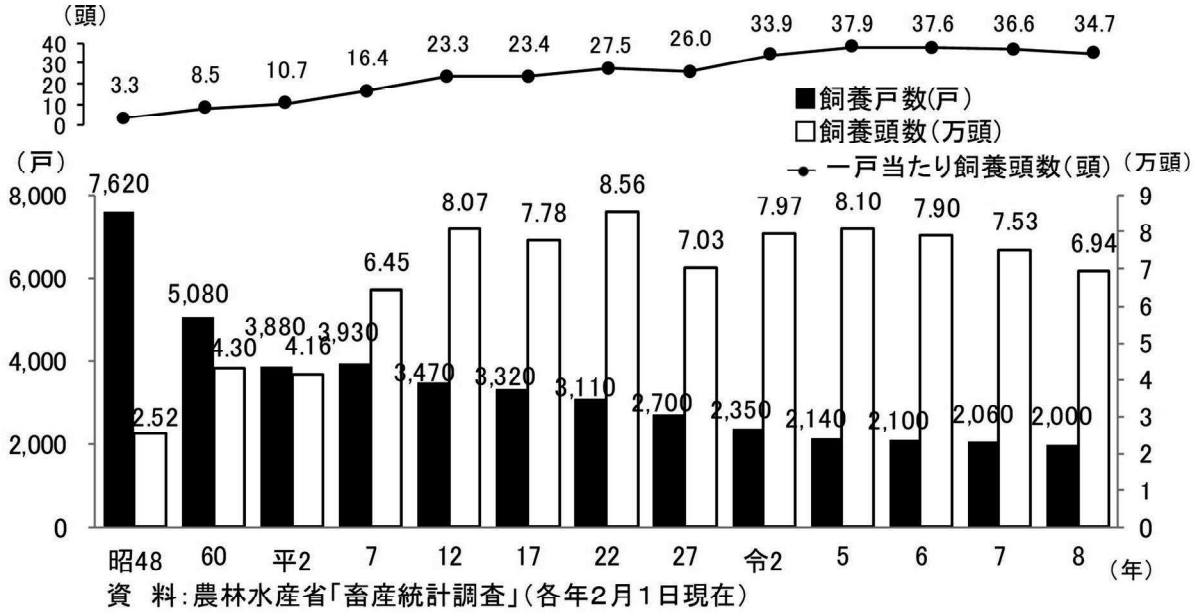
県内家畜市場における子牛（黒毛和種）の一頭当たりの平均取引価格は、景気低迷等による牛肉需要の落ち込みを背景に、平成21年度には302千円まで低下した。その後、宮崎県での口蹄疫発生（平成22年4月）や東日本大震災（平成23年3月）等の影響により子牛生産頭数が減少する中、景気回復による牛肉需要の増加を受けて上昇傾向で推移し、平成28年度には754千円と過去最高額を記録した。その後は、R3年度まで概ね微減傾向で推移していたが、R4年度以降は、飼料・資材の価格高騰などを背景とした肥育農家の導入意欲低下や物価高による牛肉需要の低迷を受け、令和4年5月に子牛価格は急落し、その後も下落傾向が続いていた。令和7年度は一転、繁殖雌牛頭数が減少したことに伴う子牛生産頭数の過度な減少により需給が逼迫したことから、子牛の平均取引価格は689千円（対前年度比42.9%増）まで急騰した（図－18参照）。

図－16　畜産産出額（畜種別内訳）



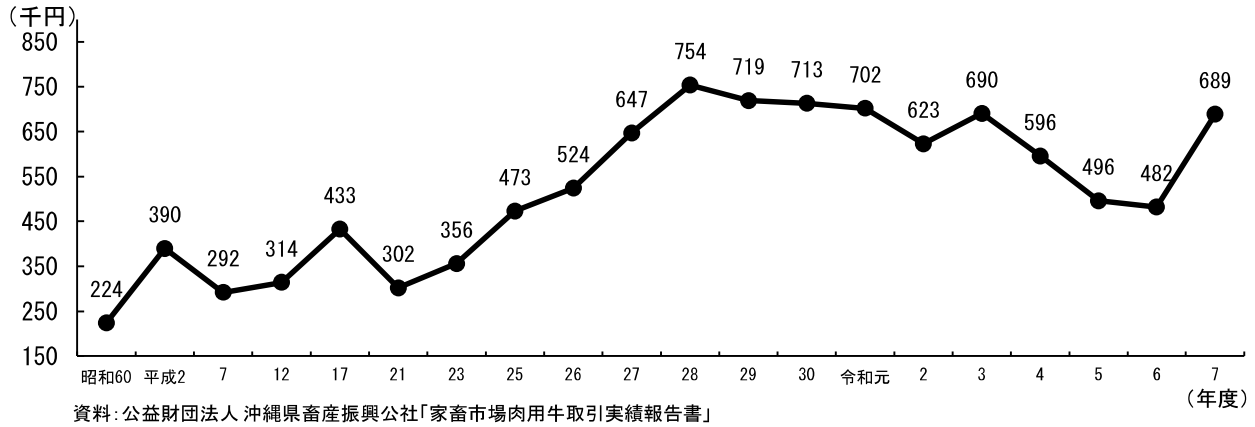
資　料：農林水産省「生産農業所得統計」

図－17　肉用牛の飼養戸数・頭数



資　料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

図－18　沖縄県内家畜市場における子牛（黒毛和牛）取引価格の推移

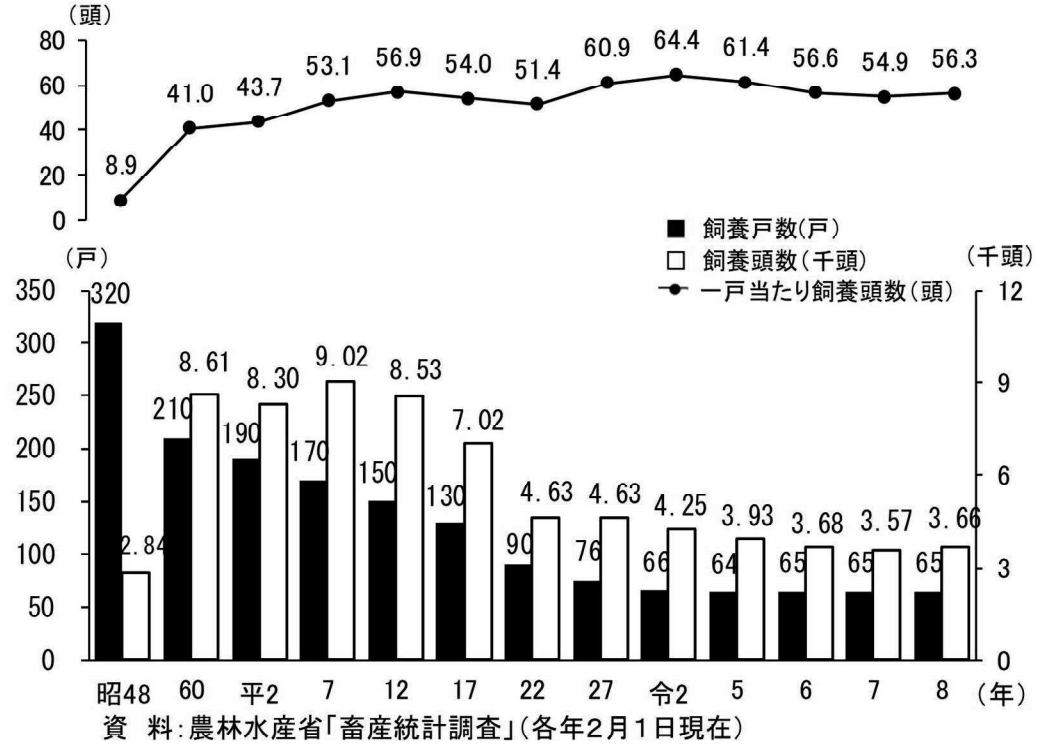



資料：公益財団法人 沖縄県畜産振興公社「家畜市場肉用牛取引実績報告書」

（畜産－乳用牛）

令和6年の畜種別産出額のうち乳用牛は、31億円と畜産部門産出額の約1割を占めている（図―16参照）。令和8年の飼養戸数は65戸、飼養頭数は3,660頭、1戸当たり飼養頭数は56.3頭と前年から増加した（図―19参照）。

図―19　乳用牛の飼養戸数・頭数

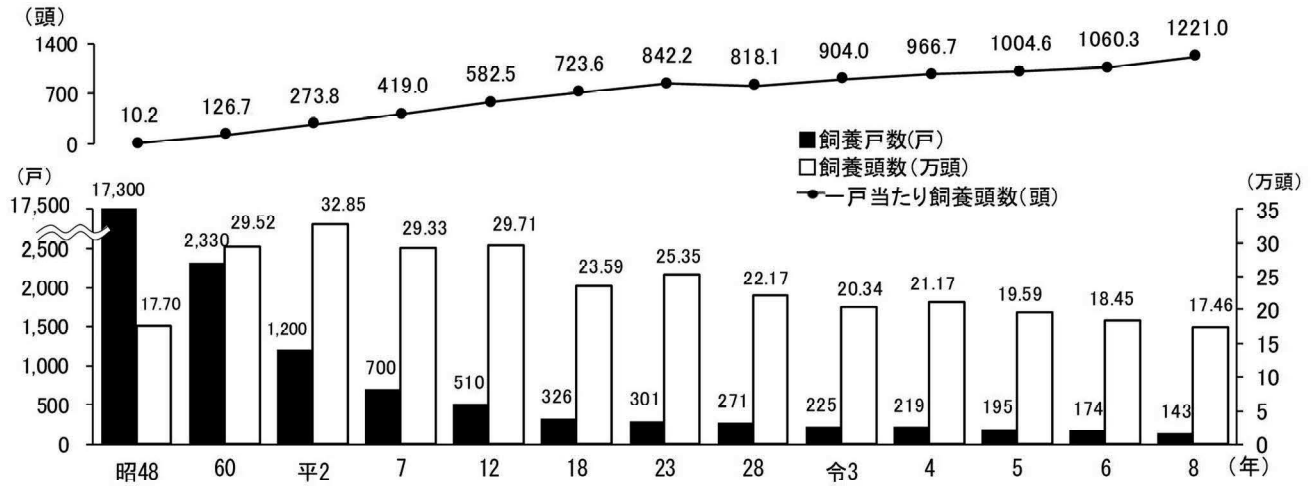



資　料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

（畜産－豚）

令和6年の畜種別産出額のうち豚は、126億円と畜産部門産出額の約3割を占めている（図―16参照）。担い手不足等により、飼養戸数は減少傾向にあるものの、1戸当たり飼養頭数は増加傾向にある（図―20参照）。

## 図－20　豚の飼養戸数・頭数

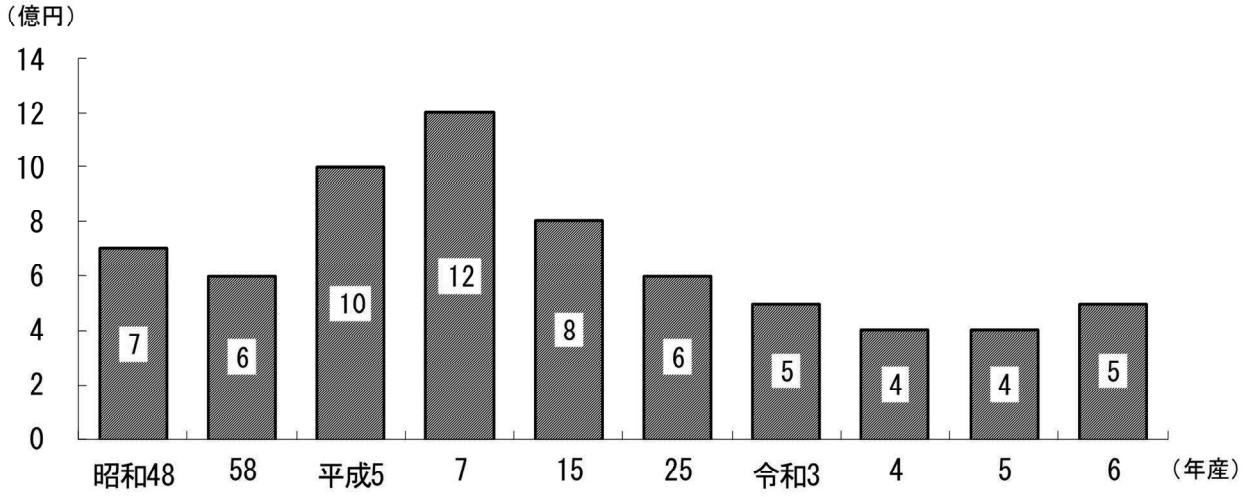



（注1）：令和7年は「農林業センサス」実施年であったため、「畜産統計調査（豚調査）」は行っていない。
資　料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

（水稲）

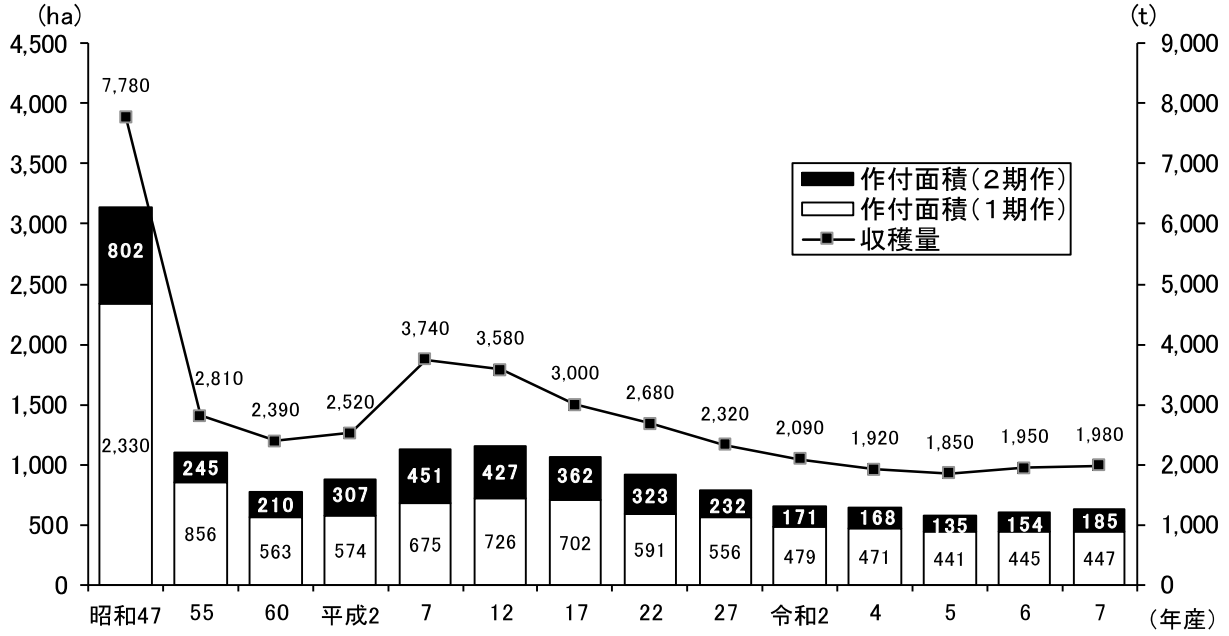
沖縄県の水稲は、沖縄本島北部地域及びその周辺離島や八重山地域で栽培されており、一部では温暖な気候を利用して二期作も行われている。近年、産出額及び作付面積は概ね横ばい傾向である（図－21、図－22、図－23参照）。

## 図－21　米の産出額



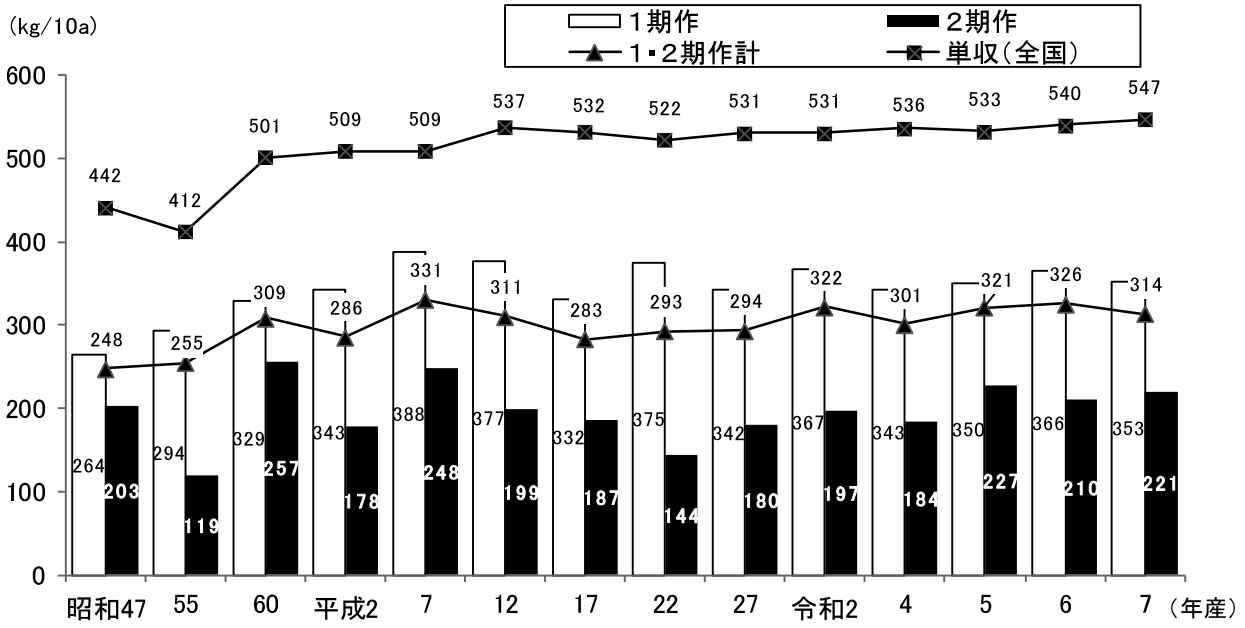

資　料：農林水産省「生産農業所得統計」

図－22　沖縄県産米の作付面積及び収穫量の推移




資料：沖縄総合事務局「農林水産統計年報」

図－23　10a 当たり収量の推移




資料：沖縄総合事務局「農林水産統計年報」

(4) 林業

①　森林面積等

沖縄県の森林面積は、県土面積の45%に当たる10万3千haで、沖縄本島北部及び八重山諸島に偏在している。これを所有形態別にみると、国有林3万2千ha（31.3%）、民有林7万1千ha（68.7%）となっており、民有林のうち市町村有林の占める割合が約5割と極めて高いのが特徴である。

森林面積に占める人工林の割合は11.8%と全国平均の40.3%に比較して著しく低い。また、森林の1ha当たり蓄積は139$m^3$で、全国平均の222$m^3$に比較して低く、特に民有林の蓄積が全国に比べ低くなっている（表－24参照）。

## 表－24　森林資源の状況

| 区　　分 | 沖縄 | | | 全国 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 総　数 | 国有林 | 民有林 | 総　数 | 国有林 | 民有林 |
| 森林面積（千ha） | 103 | 32 | 71 | 25,025 | 7,657 | 17,368 |
| 構成比（%） | (100.0) | (31.3) | (68.7) | (100.0) | (30.6) | (69.4) |
| 森林率（%） | (45) | － | － | (66) | － | － |
| 森林蓄積（万 $m^3$） | 1,438 | 465 | 973 | 556,020 | 130,055 | 425,965 |
| （$m^3$／ha） | (139) | (144) | (137) | (222) | (170) | (245) |
| 人工林面積（千ha） | 12 | 2 | 10 | 10,093 | 2,247 | 7,846 |
| 人工林率（%） | (11.8) | (5.7) | (14.6) | (40.3) | (29.4) | (45.2) |

（注）１．沖縄県における無償貸付国有林（約4,400ha）は、民有林の中に含まれている。
　　２．単位未満四捨五入のため、総数と内訳は必ずしも一致しない。
資料：林野庁「森林資源の現況」（令和4年3月31日現在）

② 林業産出額

令和6年の林業産出額は、約6億円となり前年並みとなった（表－25－1参照）。

③ 特用林産物

特用林産物の生産のうち、きのこ類の生産についてみると、令和元年から令和3年までは約1,300t で推移していたが、令和4年から減少し、令和6年には約1,000t となっている（表－25－2参照）。

## 表－25　林業産出額及び特用林産物生産量の推移

１ 林業産出額

（単位：億円）

| 区　　分 | 昭和48年 | 55 | 60 | 平成2年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 令和2年 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 林業産出額 | － | 3 | 4 | 4 | 2 | 2 | 3 | 6 | 6 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 |

資　料：農林水産省「生産林業所得統計」

２　特用林産物生産量（主なもの）

（単位：ｔ）

| 区　　分 | 昭和60 | 平成2年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 29 | 30 | 令和元年 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生しいたけ | 33.8 | 35.4 | 12.6 | 8.9 | 8.4 | 5.6 | 26.1 | 32.2 | 24.9 | 54.3 | 78.4 | 99.9 | 93.7 | 77.8 | 80.6 |
| えのきたけ | － | － | － | － | 381 | 686.2 | 624.7 | 610.4 | 558.5 | 649.2 | 634.6 | 631.1 | 619.9 | 549.7 | 506.2 |
| ぶなしめじ | － | － | － | － | － | 485.7 | 522.9 | 516 | 520.4 | 546.4 | 526.1 | 501.3 | 272.0 | 277.4 | 248.9 |
| ひらたけ類 | 69.3 | 149.4 | 81 | 47.8 | 37.3 | 30.9 | 153 | 131.1 | 131.0 | 137.1 | 125.2 | 125.9 | 127.2 | 128.9 | 123.7 |
| たけのこ | 36.7 | 15.2 | 8 | 4.3 | 3.2 | 2.4 | 0.5 | 2.2 | 1.7 | 1.1 | 0.9 | 0.7 | 0.8 | － | 0.3 |
| 木　　炭 | 726 | 765 | 671 | 490 | 245 | 222 | 159 | 123 | 112 | 101 | 84 | 60 | 54 | 44 | 43 |
| ユーカリ | － | 6.3 | 6.6 | 5.4 | 17.4 | 2.1 | 2.1 | 0.9 | 1.3 | 1.0 | 1.0 | 1.3 | 1.3 | 1.1 | 1.0 |

資　料：沖縄県農林水産部「沖縄の森林・林業」

(5)水産業

① 漁業産出額

令和6年の海面漁業・養殖業産出額は、188億円で前年に比べ1%減少した。海面漁業114億円、海面養殖業74億円となっている（表－26－1参照)。

② 漁業生産量

令和6年の海面漁業・養殖業生産量は32,254t で前年に比べ6%減少した。海面漁業13,502t、海面養殖業18,752t となっている（表－26－2参照)。

③ 養殖業

海面養殖業の産出額は、もずくが22億円と前年に比べ12%減少しており、くるまえびは23億円で前年に比べ12%減少した（表－26－3参照)。

また、令和6年のもずくの収獲量は17,181ｔと全体の92%を占め、前年に比べ14%減少した。くるまえびの収獲量は450ｔで前年に比べ4%減少した（表－26－4参照)。

## 表－26 漁業生産量及び産出額の推移

### 1 部門別産出額

（単位：億円、%）

| 部門／年次 | 総産出額 | 海面 | | | | 内水面 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 漁業 | | 養殖業 | | 養殖業 | |
| | | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 |
| 昭和47年 | 118 | 105 | 89.0 | 0 | 0.0 | 13 | 11.0 |
| 60 | 207 | 172 | 83.1 | 22 | 10.6 | 13 | 6.3 |
| 平成２年 | 266 | 206 | 77.4 | 55 | 20.7 | 5 | 1.9 |
| 7 | 217 | 155 | 71.4 | 61 | 28.1 | 1 | 0.5 |
| 12 | 201 | 131 | 65.2 | 70 | 34.8 | 0 | 0.0 |
| 17 | 189 | 108 | 57.1 | 80 | 42.3 | ‥ | ‥ |
| 22 | 137 | 82 | 59.9 | 54 | 39.4 | ‥ | ‥ |
| 27 | 194 | 127 | 65.5 | 67 | 34.5 | ‥ | ‥ |
| 令和２年 | 184 | 94 | 51.1 | 90 | 48.9 | ‥ | ‥ |
| 3 | 179 | 99 | 55.3 | 79 | 44.1 | ‥ | ‥ |
| 4 | 172 | 100 | 58.1 | 72 | 41.9 | ‥ | ‥ |
| 5 | 190 | 110 | 57.9 | 79 | 41.6 | ‥ | ‥ |
| 6 | 188 | 114 | 60.6 | 74 | 39.4 | ‥ | ‥ |

（注） ：１．総産出額について、平成13年以降は、海面漁業のみの数値となっており、平成29年以降は、中間産物である種苗を除外した。

２．単位未満四捨五入のため、総数と内訳は必ずしも一致しない。

３．「‥」は、未発表のもの。

資料 ：農林水産省「漁業産出額」

## 2 部門別生産量

（単位：t、%）

| 部門＼年次 | 総生産量 | 海面 | | | | 内水面 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 漁業 | | 養殖業 | | 養殖業 | |
| | | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 |
| 昭和47年 | 54,639 | 53,899 | 98.7 | 6 | 0.0 | 734 | 1.3 |
| 60 | 51,289 | 45,827 | 89.4 | 4,676 | 9.1 | 786 | 1.5 |
| 平成2年 | 46,291 | 34,832 | 75.2 | 11,114 | 24.0 | 345 | 0.7 |
| 7 | 31,499 | 23,098 | 73.3 | 8,356 | 26.5 | 45 | 0.1 |
| 12 | 38,642 | 20,928 | 54.2 | 17,698 | 45.8 | 16 | 0.0 |
| 17 | 33,429 | 18,457 | 55.2 | 14,972 | 44.8 | … | … |
| 22 | 24,489 | 14,812 | 60.5 | 9,677 | 39.5 | … | … |
| 27 | 32,581 | 16,684 | 51.2 | 15,897 | 48.8 | … | … |
| 令和2年 | 38,579 | 12,928 | 33.5 | 25,651 | 66.5 | … | … |
| 3 | 38,978 | 14,936 | 38.3 | 24,042 | 61.7 | … | … |
| 4 | 27,554 | 10,689 | 38.8 | 16,865 | 61.2 | … | … |
| 5 | 34,146 | 12,418 | 36.4 | 21,728 | 63.6 | … | … |
| 6 | 32,254 | 13,502 | 41.9 | 18,752 | 58.1 | … | … |

（注）　：1．総生産量について、平成13年以降は、海面漁業のみの数値となっている。

2．「…」は、事実不詳のもの。

資料　：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

## 3 養殖業の産出額

（単位：億円）

| 区　分 | 昭和47年 | 60 | 平成2年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 令和2年 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 13 | 35 | 60 | 62 | 70 | 80 | 54 | 67 | 90 | 79 | 72 | 79 | 74 |
| うち海面養殖業 | 0 | 22 | 55 | 61 | 70 | 80 | 54 | 67 | 90 | 79 | 72 | 79 | 74 |
| もずく | … | 7 | 15 | 9 | 19 | 31 | 8 | 21 | 50 | 34 | 19 | 25 | 22 |
| くるまえび | 0 | 14 | 36 | 40 | 36 | 30 | 25 | 21 | 18 | 20 | 22 | 26 | 23 |
| うち内水面養殖業 | 13 | 13 | 5 | 1 | 0 | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ |
| うなぎ | 13 | 13 | 5 | 1 | 0 | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ | ‥ |

（注）：1．「…」は、事実不詳のもの。
2．「‥」は、未発表のもの。
3．平成29年漁業産出額の公表から、中間生産物である種苗を漁業産出額から除外した。
資 料：農林水産省「漁業産出額」

## 4 養殖業の収獲量

（単位：t）

| 区　分 | 昭和47年 | 60 | 平成2年 | 7 | 12 | 17 | 22 | 27 | 令和2年 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 740 | 5,462 | 11,459 | 8,401 | 17,714 | 19,472 | 9,677 | 15,897 | 25,651 | 24,042 | 16,865 | 21,728 | 18,752 |
| うち海面養殖業 | 6 | 4,676 | 11,114 | 8,356 | 17,698 | 19,472 | 9,677 | 15,897 | 25,651 | 24,042 | 16,865 | 21,728 | 18,752 |
| もずく | … | 4,456 | 10,428 | 7,352 | 16,165 | 13,352 | 8,012 | 14,445 | 24,223 | 22,400 | 15,172 | 20,084 | 17,181 |
| くるまえび | 1 | 187 | 572 | 483 | 788 | 719 | 608 | 397 | 426 | 418 | 372 | 469 | 450 |
| うち内水面養殖業 | 734 | 786 | 345 | 45 | 16 | … | … | … | … | … | … | … | … |
| うなぎ | 734 | 771 | 334 | 35 | 15 | … | … | … | … | … | … | … | … |

（注）：1．「…」は、事実不詳のもの。
2．「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。
3．合計について、平成13年以降は、海面養殖業のみの数値となっている。
資 料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」